

ほう

えい

# 豊栄1号

(試交84-A)

近年、露地キュウリ栽培環境がかなり厳しくなってきました。ウイルスに侵されにくく、褐斑病・うどんこ病・べト病等々にも強い品種の要求度がより高まってる中で待望の品種「**豊栄1号**」が誕生しました。**草勢が強く、病気にも強い。高品質で多収穫**が特徴です。台木はエキサイト一輝やストロング一輝 (乾きやすく、灌水設備のない圃場ではゆうゆう一輝黒タイプ) が最適です。



# OS交配 豊栄1号 特性と栽培ポイント

## 【特性】

適作型	露地 4~8月播き	主 茎	太さは太く節間は中。
雌花率	主枝40%位 側枝60%位	側 枝	節間は中位で発生は多い。
果 長	100g果で20~21cm	孫 枝	側枝同様中節間でしっかりと発生。
果 形	首から尻まで良く整った果形。曲がり尻太、尻コケ、首コケの発生は極めて少ない。	葉	濃緑で厚くやや丸葉、大きさは中位、葉柄は上向きでたれにくい。
果 色	濃緑色、色ボケは全くない。	草姿・草勢	カラッと生育し受光態勢が良い。高温、乾燥、芯焼けにも強い。
果 皮	テリは極めて強くなめらかでブルームの発生少なくイボは小さめ。	収 穫	つる持ちがよく果実の肥大も安定しているため総収量も多い。
果 肉	厚く、歯切れ食味良い。	耐病性	べと、うどんこ、褐斑病に強くウイルス病による急性萎凋症になりにくい。

### ◆定植準備

- 元肥全層施用する場合、10a当たりの堆厩肥3t以上及びN成分で25~30kgとする。
- 元肥を全層と畦芯に施用する場合には、10a当たり全層堆厩肥3t以上及びN成分で15~20kg、畦芯にN成分で10~15kgとする。堆厩肥が少ない場合には堆厩肥を畦芯のみに施用すると効果的である。また、畦芯に追肥の一部を入れることもある。
- 定植時には、畦芯も十分に湿っていること。

### ◆栽培様式

畦間 270~360cm (作業性・立地条件から決定する)  
株間 60~90cm 播種期が早いほど広くする  
条間 60~120cm 収穫期間が長いほど広くする

### ◆定植から収穫開始まで

- 苗を適度に稀釈した液肥にドブ漬けするか、定植後は直ちに株元へ灌水する。
- 土中水分量は急激な変化をつけない。(雨が降り続けているときには排水に努め、にわか快晴の際には圃場を一気に乾かさない)
- 活着を良くし押さえずに素直に伸ばす。

### ◆整技法

- 畝より30~40cmの高さまでの子づると雌花を早めに除去する。子づる、孫づるは原則として1節摘芯

とする。

東北地方などでは中段は1~2節摘芯とする。

(主枝の節間が短い場合には1節摘芯が望ましい)

- 樹作りをしっかりと行い、早くから枝を放任しない。
- 子づる、孫づるの摘芯は強摘芯は絶対行わず、片手で摘める大きさで行う。
- 西南暖地では雌花が小さいときは特に長く伸ばさないで摘芯する。又、貧弱な枝については先々混み合う要因になるので枝抜きも考える。

### ◆摘葉

- 収穫はじめからアーチ内の摘葉を始める。
- 下から伸びる芯に良く光が当たるように邪魔している葉を随時摘み取る。

### ◆追肥

- 果実の肥大期(小指~人差し指大)より行い、草勢の維持に努める。
- 1回の施用量は、10a当たりN成分で2~3kgとする。
- 定植後7~10日位にまで株と株の間に穴肥も有効である。
- 草勢の強い品種のため、N過多にならないようにする。(N、P、Kのバランスに注意)



きゅうり・かぼちゃ・メロン育成元  
株式会社 埼玉原種育成会  
〒346-0105 埼玉県久喜市菑浦町新堀2616  
TEL. 0480(85)0854(代)  
FAX. 0480(85)0407



OS交配種子・発売元  
株式会社シード  
〒346-0105 埼玉県久喜市菑浦町新堀2616  
TEL. 0480(85)7211(代)